

点滴療法研究会推奨の点滴製剤・試薬のご案内

ビタミンC

高濃度ビタミンC点滴

マイラン社

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤の入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。国産の製剤は、防腐剤が入っているため適しません。また、ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2～8℃の冷蔵保管が義務づけられています。当会では、冷蔵空輸にて日本に出荷される安全なマイラン社製のビタミンC製剤を推奨しています。

資料請求は
コチラ



NMN

完全β-NMN点滴

一般社団法人
NMN医療研究会

NMNには、分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、人体で生成され、有益な効果を持つのはβ-NMNのみとされています。Bio Umbrella社のNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤です。

資料請求は
コチラ



※原料元：ミライラボバイオサイエンス（株）

※試薬での提供

エクソソーム

PURE EXOSOME® 点滴

AZACLI

エクソソームに内包されている無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。当会では先生方の研究に使っていただきやすい試薬として提供しております。

お問い合わせは
コチラ



※試薬での提供

価格・最低発注個数などの
詳細はこちらから ▶



会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2022.11

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

NEW AGE MEDICINE



2022
AUTUMN
11
vol.7

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会



Interview

三番町さきげんクリニック 院長
澤登 雅一先生
風を変える

点滴療法研究会 会長 柳澤 厚生 先生
新型コロナワクチン接種後遺症の
治療プロトコル

医療法人インペリオクリニック 理事長 新福 泰弘 先生
歯科診療への点滴療法の
今後の展望

最新海外情報

医学コラム

会員サービスご紹介

国際栄養医学シンポジウム2022 開催報告

interview

風を 変える

三番町ごきげんクリニック
院長 澤登 雅一 先生



2022年9月18日～19日に国際栄養医学シンポジウムが開催されました。直前まで台風直撃の情報があり、オンライン開催のない中、875人も参加者が会場に足を運んだと知り、驚きとともに、私たちが目指す医療が少しずつ世の中に受け入れられていることを実感し、なんとも言えない喜びを感じました。

今回のシンポジウムは、点滴療法研究会と日本オーソモレキュラー医学会第4回総会の合同開催ということでしたが、演者の先生方の専門領域や年齢など、バラエティーに富んでいて、ディスカッションも白熱し、非常に活気に満ちたシンポジウムであったと思います。



▲ 柳澤厚生先生と記念撮影

15年前の点滴療法研究会発足当時は、逆風の中をもがいている感じでしたが、いまは強い追い風に背中を押されている、『明らかに風が変わったな』と、当時から参加されていた先生方は皆感じたのではないのでしょうか。

私は、20年前から抗加齢(アンチエイジング)医学という新たな領域に身を置きながら、もともとの専門である癌治療をライフワークとして日々診療をしています。クリニックでは、基本的に保険診療は行わず、高濃度ビタミンC点滴療法をはじめとした点滴療法、サプリメントと食事を併用した栄養療法などを行っています。

エビデンスが絶対的なものとされる医療の世界において、特に癌治療に関しては、標準治療以外の診療をすることで、風当たりは相当強いものです。

私は、この逆風を正面からずっと受け続けられるほど心が強くないので、少しでも風向きを変えるために、自分に何かできることはないかと考えた挙句、『エビデンスにはエビデンスで対抗しよう』という考えに至りました。

幸い大学にも籍がありましたので、大学の先生方に協力していただき、まず、細胞実験とマウスを用いた研究で、高濃度ビタミンC点滴療法の抗腫瘍効果について、もっとも有名な米国国立衛生研究所から報告されたメカニズムの確認のほかに、血管新生阻害による抗腫瘍効果があることを報告し、その後、第1相臨床試験として、再発悪性リンパ腫患者に対して、抗がん剤と高濃度ビタミンC併用の安全性と推奨されるビタミンC投与量について報告しました。

最近では、日常的にサプリメントとしてとられているスチルベン誘導体によるがん治療の可能性について、興味深い結果を得ています。

レスベラトロールやプテロスチルベンなどのスチルベン誘導体は、長寿遺伝子サーチュインの活性化など、抗加齢医学の領域で非常に注目されていますが、多く

の抗がんメカニズムも知られています。

さまざまなヒト白血病細胞を用いてプテロスチルベンの抗白血病効果を検討したところ、BCR/AB融合遺伝子を持つ白血病細胞に非常に強いアポトーシスの誘導がみられました。BCR/AB融合遺伝子を持つ白血病は、慢性骨髄性白血病がよく知られていますが、標準治療として用いられるチロシンキナーゼ阻害剤に抵抗性の白血病細胞にも効果を示し、また、BCR/ABL陽性白血病移植マウスに対しても、腫瘍増殖抑制効果が認められました。

熊本大学(論文発表当時)の斎藤先生らは、エストロゲンレセプター陽性乳癌に対するホルモン療法抵抗性の機序として、ESR1遺伝子の活性化と、それに関する多量のnon code RNAの存在を特定し、レスベラトロールによりそれが抑制され、細胞の増殖が停止することを報告しています。

私は、自分がいま取り組んでいる癌治療は標準治療にとって代わるものとは思っていません。しかし、標準治療にはない役割があると信じています。上記の研究結果は、いずれも、標準治療抵抗性のがんに対するスチルベン誘導体による治療の可能性を示唆するもので、標準治療で得られない効果が期待できるだけでなく、コストや副作用の面からも患者の負担は軽減されるという非常に意味のあるものです。

冒頭に述べたシンポジウムで、私は老化細胞についてお話しさせていただきました。通常、分裂を停止した細胞は、アポトーシス(細胞死)を起こすか、免疫細胞の働きにより体内から排除されます。しかし、細胞老化によって分裂を停止した細胞の中に、死なずに臓器や組織の中に残って蓄積していくものがあり、そのような細胞を老化細胞と呼びます。近年、老化細胞について理解が深まり、細胞としての機能が停止し、単に役立たずに



▲ 国際栄養医学シンポジウムでの澤登先生のご講演



講演名
『老化細胞に対する
取り組み』

▲ 国際栄養医学シンポジウムでの澤登先生のご講演

なるだけでなく、炎症性サイトカインやケモカインなどを分泌するSASP(Senescence-Associated Secretory Phenotype)という現象をおこすことで、周囲の組織に慢性炎症や発がんを促す迷惑者になることがわかってきました。

まさに社会における老害の存在のようなものです。

超高齢化社会や新型コロナウイルスの出現などによる世の中の健康に対する意識や医療に求める質の変化が、大きな追い風となっています。私も、医療の現場から、ほんの少しでも世の中の風を変えられるよう、これからも新しいことを発信していきたいと思います。老害にならないよう気をつけながら、

澤登 雅一
三番町ごきげんクリニック 院長

1992年、東京慈恵会医科大学卒業。血液内科医として日本赤十字社医療センターで主に白血病や悪性リンパ腫などの血液がんの臨床に従事。2005年より三番町ごきげんクリニック院長。病気を診る立場から、病気にならないことの重要性を痛感し、アンチエイジング医療を実践するとともに、ライフワークとしてがんの治療に力を注いでいる。

医学博士
東海大学医学部 血液・腫瘍内科 客員講師
日本内科学会総合内科専門医
日本血液学会専門医
日本抗加齢医学会評議員・専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
米国先端医療学会(ACAM)キレーション治療認定医
エビジェネティック療法研究会 代表幹事
点滴療法研究会 ボードメンバー

『細胞から「毒」が逃げ出す生き方〜キレーション身体革命』(講談社)
『その「不調」、あなたの好きな食べ物が原因だった?』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)など



点滴療法研究会 × 日本オーソモレキュラー医学会合同開催

国際栄養医学 シンポジウム 2022

NEW AGE MEDICINE 新時代栄養医療がつくる健康な未来

開催 報告



国際オーソモレキュラー
医学会 会長/
点滴療法研究会 会長
柳澤厚生

2022年9月18日から2日間に渡り、「国際栄養医学シンポジウム2022」が東京駅前のJP TOWER HALL & CONFERENCEで開催されました。

本シンポジウムは点滴療法研究会15周年学術大会（大会長：柳澤厚生）と一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会第4回総会（会頭：井手口直子 帝京平成大学薬学部教授、名誉会頭：矢澤一良 早稲田大学規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 部門長）による合同開催です。

東京は新型コロナウイルスのオミクロン株による流行が広がっていた時期でした。さらに追い打ちをかけるように西日本に台風が接近、出席者が会場に向かう、あるいは帰宅する飛行機の欠航や新幹線の運行停止など不安な状況でした。そんな中で、2日間に延べ900人近い医師、歯科医師をはじめとするヘルスケア関係者、そして42社の展示企業が集まり、シンポジウムへの関心の高さが窺われます。

学会初日、私と井手口直子会頭による開会の挨拶

挨拶が行われる頃にはメインホールの8割の席が埋まりました。引き続き、矢澤一良名誉会頭による講演「予防医学では栄養と食品がキープレイヤー」で学会がスタートしました。

講演はメインホールとカンファレンスホールの2会場に2日間に44講演と4つのランチョンセミナーが行われました。点滴療法としての講演は幹細胞培養上清やエクソソームの点滴、NMNやNAD+療法、高濃度ビタミンC点滴とがん治療、栄養療法との組み合わせや医療経営等多岐に渡りました。

圧巻は日本抗加齢医学会理事長の山田秀和先生（近畿大学客員教授）による基調講演「老化時計を用いたライフスタイルの介入」でした。老化は病であるという立場から、老化の制御について最新の研究とこの分野の未来についてお話いただきました。30年規模の長期研究に対する日本公的研究費が米国の研究費とは2桁も違うこと、そのために日本の研究が世界から致命的に遅れていることを残念そうに話しておられたのが印象的でした。

本シンポジウムは研究会ボードメンバーであった故松山淳先生（医療法人社団松寿会松山医院院長）が日本オーソモレキュラー医学会の会頭を務められる予定でいました。しかし、2021年秋に松山先生が急逝したため、井手口先生に急遽会頭にご就任いただきました。ここに故松山淳先生のこれまでの点滴療法研究会における素晴らしい功績を讃え、心よりご冥福を祈ります。



会頭の井手口直子先生



名誉会頭の矢澤一良先生

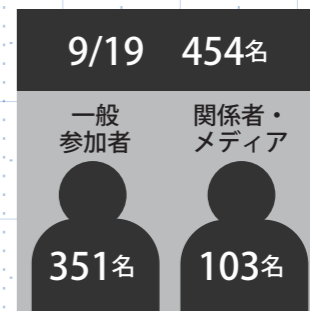
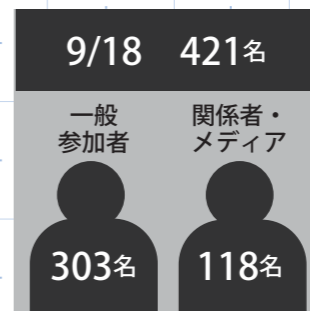


基調講演の山田秀和先生



松山淳先生

2日間で延べ
875名の方々に
ご参加いただきました



『臨床における天然型ホルモン療法』
銀座上符メディカルクリニック 院長
上符 正志先生



『がん医療最新情報』
健康増進クリニック 院長
水上 治先生



『プラネタリーヘルスとしての腸内フローラ』
田中クリニック理事長 田中 善先生



ご講演された ボードメンバーの 先生方

◀『老化細胞に対する取り組み』
三番町ひげんクリニック 院長
澤登 雅一先生



▶『「口腔脳腸相関」
これからの 医科歯科連携の
メインストリーム』
森永歯科医院 院長
森永 宏喜先生

JP TOWER HALL & CONFERENCE会場



メインホール



カンファレンスルーム

42社の企業様にご出展いただき大盛況でした。



ランチョンセミナーを開催いただいた企業様



『アルツハイマー病を未然に防ぐための明るい未来像』
(株)スピック 代表取締役社長 芝田 崇行 様
点滴療法研究会 会長 柳澤 厚生 先生



『炎症に対する栄養戦略
～異なる2つのアプローチを使いこなす～』
みぞぐちクリニック 院長 溝口 徹 先生



『NMN超え?デアザフラビン再発見の衝撃』
メディテラス(株) 代表取締役 乾 雅人 先生



『アガリクスKA21の統合医療、美容分野への応用』
東栄新薬(株) 代表取締役 元井 章智 様

2023年も豪華講師陣による特別セミナーを開催予定！お楽しみに！！

新春特別セミナー

専門家が徹底解説

新型コロナ後遺症とワクチン後遺症

医療現場で今すぐできる最新治療

2023年 1/29 sun

春の特別セミナー

明日から臨床現場に導入できる

最強のアンチエイジング医学

2023年 3月19日(日)

最新海外医学情報 PICK UP NEWS

低ビタミンDレベルが死亡率増加に関連

30万人のイギリス人の14年間にわたるデータを分析した研究結果が2022年10月に発表され、ビタミンDの欠乏が様々な要因での死亡率増加を引き起こしている可能性が示唆されました。Dが欠乏している(25nmol/L)場合、そうでない場合(50nmol/L)と比べ全死因死亡率が25%増加したと報告されています。Dレベルが低い人で特に目立ったのは、癌、心血管疾患、呼吸器系疾患による死亡率の増加でした。全世界で約10億人がD欠乏であり、日本人の多くもDが足りていないと言われています。コロナ禍など様々な影響で全死因死亡率が増加している今、ビタミンDなどの栄養素が健康維持・生命維持においてより一層重要な役割を持つことでしょう。



J. Sutherland, A. Zhou, E. Hyppönen. Vitamin D Deficiency Increases Mortality Risk in the UK Biobank. *Annals of Internal Medicine*, 2022

パーキンソン病：亜鉛による予防効果の可能性

脳内でαシヌクレインというタンパク質が凝集し、レビー小体を形成することが、パーキンソン病の発症要因のひとつだと言われています。過去の研究では、亜鉛がαシヌクレインの凝集を促進する可能性が示唆されていました。しかし、10月に報告された研究結果では、生物学的に適切な条件下では、亜鉛は輸送タンパク質であるアルブミンを増強してクラスター化を抑制し、αシヌクレインの蓄積を防ぐという、予想外の役割を果たすことが明らかになりました。抗酸化力が高いだけでなく、不足することで食欲低下や骨粗しょう症などにも繋がる亜鉛。全身の健康のため、そして脳の健康のためにも、不足に注意したい栄養素です。

S. Al-Harhi, et al., Zinc ions prevent α-synuclein aggregation by enhancing chaperone function of human serum albumin, *International Journal of Biological Macromolecules*, 2022

ビタミンB1で片頭痛を解消

ビタミンB1(チアミン)が片頭痛の予防に役立つという研究結果が、9月に発表された論文で報告されました。片頭痛はストレスやホルモンなど様々な要因で引き起こされるとされ、食事や栄養がひとつの要因であるとは言われているものの、その詳細は明らかにされていませんでした。この研究では米国の13,000人以上のデータを分析し、ビタミンB1とB2の摂取と、片頭痛の発生の関連性を調査しました。その結果、食事に含まれるB1の量が多いほど片頭痛の発生確率が低く、特に女性においてその結果が顕著にみられました。一方で、B2については有意なリスク低減は認められませんでした。片頭痛は治療が難しい症状のひとつですが、点滴療法研究会としてはマイヤーズカクテル点滴の有効性を発信してきました。マイヤーズカクテルに含まれるMgなど他の栄養素に加え、B1が片頭痛の予防や緩和に役立つという一つのエビデンスが示されました。



D. Li, et al., Dietary intake of thiamine and riboflavin in relation to severe headache or migraine: A cross-sectional survey, *Headache: The Journal of Head and Face Pain*, 2022

糞便移植が老化プロセスを逆転させる

日本でも糞便移植(腸内フローラ移植、FMT)は大学等でも研究され、注目されているトピックのひとつです。今年5月にアラブ首長国連邦の研究機関から発表された論文では、年老いたマウスと若いマウスにお互いの糞便を移植することで、腸内・目・脳の老化にどのような影響を及ぼすかを検証しました。腸・目・脳は、老化に伴い炎症が起きること、機能低下が問題になる組織の代表例です。この研究の結果、高齢マウスの糞便を移植された若いマウスでは、腸の粘膜が一部破壊され、リーキーガットのような状態が引き起こされることで、免疫系や脳、目の炎症が起こり、更に眼球では網膜変性に関連するタンパク質が上昇しました。一方で若い糞便を移植された高齢マウスでは、これらの症状が改善したと報告されています。

この結果は、「良い」腸内細菌の移植が、腸だけでなく目や脳などの重要な組織の機能を改善できる可能性があることを示唆する画期的なものあり、今後はヒトでの実験が予定されているとのこと。

A Parker, et al., Fecal microbiota transfer between young and aged mice reverses hallmarks of the aging gut, eye, and brain. *Microbiome*, 2022; 10 (1)

歯科診療への 点滴療法の 今後の展望

医療法人インペリオクリニック
理事長

新福 泰弘 先生

【略歴】スイスの「SDS ジルコニアインプラント専門医」を取得し日本人唯一の指導医として活躍中。
またシアトルKOISセンターの「KOIS MENTOR 資格」や「Smilefy Digital Smile Designer資格」を取得し最新のデジタルテクノロジーを用いた「機能性と審美性」を追求する咬合診断法および補綴治療法を全国の先生方へコーチング。次世代の「全身の健康を追求する歯科治療コンセプトをBDM® (BioFunction Dental Medicine) 診断治療プログラムとして開発、実践、全国の先生方に提供。その他、アメリカ抗加齢医学会(A4M) 専門医(ABAAHP)、WFOT (国際オゾン療法学会) 日本代表、Humares オゾン療法スーパーバイザー、Journal of ozone therapy reviewer、DNA SNP 遺伝子栄養療法指導医、PHOTON WAVE スーパーバイザー、歯科における点滴療法の第一人者、特に血液オゾン療法はこれまでに4万回以上の実績。海外講演多数。



▲ 2016年3月「オゾン療法マスタートレーニングコース」
シャレンバーガー先生来日

現在、ヒースロー空港発ANA212便の機中にて原稿を書いています。ドイツでのインプラントカンファレンスの後、帰国前のPCR検査で陽性が出たため、結果的に2週間近くミュンヘン空港のホテルで足止めとなりました。ようやく陰性が取れたので帰国の途に着いているところです。

さて、私事ですが、本年一杯をもって、現役歯科医師として第一線で働くことを卒業し、60歳からの残りの人生は別のやりたいことにシフトしていくこととなりました。これは以前から決めていたことではありますが、そのため、点滴療法研究会のセミナーやコラムも今年で終了となります。

今回は、「点滴療法の今後の展望」というテーマで執筆のご依頼を受けましたので、これまでの経験と世界における日本のマクロ状況の視座を交えて忌憚なく私見を述べたいと思います。

まず、日本の医療は、世界でも稀な国民皆保険そして混合診療の禁止という特殊なシステムで構築されていますので、点滴/栄養療法だけでなくあらゆる自費治療が爆発的にマクロ市場に受け入れられる環境にはありません。

経済は需要と供給のバランスで成立しますので、これらの旺盛な需要を喚起するためには国の規制が変わるしかありません。しかし、これからの数十年でそのようなことが起こる可能性はほぼゼロだと思います。

ただ、点滴/栄養療法による臨床効果が、既存の保険診療では得られないような劇的な効果を発揮することを実証する大規模サンプルを用いたコホート研究などのエビデンスが出現すれば、話は違ってきます。そうなれば保険適応となって日の目を見る可能性もありますが、残念ながら、ただでさえ研究費が枯渇しつつある日本においてはその可能性もないと言わざるを得ません。欧米でもそのような研究は実施されないでしょう。

今後もCase Studyや小サンプル数の比較研究レベルのエビデンスは出てくるとは思われますが、それらが、画期的なGame Changerになることはないと思います。つまり、点滴/栄養療法は今後もずっとニッチ産業であり、これらが日々の診療の中核となることはない、言い換えれば、これらだけでクリニック経営を成

立させることは困難であることをまずは認識する必要があります。それでは、点滴/栄養療法を歯科臨床に導入するのは意味がないのかと言われれば、そうではありません。

私の経験を振り返っても、たとえばこれらは外科などを支える強力な治療上の武器になりましたし、また、経営的にも大きな柱になったことは間違いありません。

そこで、これから点滴/栄養療法を本格的に導入される次の世代の若い先生たちに三点の提言をしたいと思えます。

一点目は、国の長年の愚策によって増え過ぎてしまった現下のクリニック乱立の状況下では、周囲の競合クリニックと同じ治療を提供しては一步抜きん出ることができません。そこで、競合にはない特殊性を打ち出す戦略を考えることになる訳ですが、その時に、生物学的歯科医学(BDM)のコンセプトは希少性があり、患者に受け入れられやすく訴求力が極めて強力ですので、導入を検討すべきだと思います。BDMについての詳細はこれまでのコラム等を見ていただければと思いますが、その中のメニューとして点滴/栄養は柱の一つとなるものです。つまり、点滴/栄養療法を自院のメインメニューを補助/強化するサブメニューとして位置付けて定着させることが重要です。可能であれば、何かと足枷となる保険治療を完全に捨てて、自費治療専門クリニックに転換することも検討すべきです。私も、保険医療機関から自主退会し、長年、完全自由診療クリニックでやってきましたが、結果的にこの選択は大正解だったと思っています。

二点目は、点滴/栄養療法を誰に勧めて受け入れてもらえるのかを考え抜いて行動することです。日本はこれから人口もGDPも減少し、また、スタグフレーションが進んでいくと思われませんが、それでも日本には2,000兆円レベルの個人金融資産が眠っており、一定以上の資産を持つ層がかなりのボリュームで存在しています。この層の中には、時間に余裕があり健康志向の強い人たちが必ずいますので、そこがコアなファンになってくれるかどうか自院に点滴/栄養を定着できる大きな鍵になると思います。私の経験では、コアなファンの年齢層は65歳以上で、財力と時間に余裕のあ

る健康志向の強い方々でした。

最後に、日本全体における人材の質的量的劣化に備える必要があると思えます。これも過去30年における国の愚策の招いた結果ですが、日本は30年間経済成長をほぼしていませんし、金融緩和で市場に流れ出たマネーも内部留保や海外投資に回され会社員の給料はほとんど上がっていません。

この問題は、人口減少に対する唯一の処方箋である海外からのエッセンシャルワーカー(移民)の確保という部分で、今後致命的な悪影響を与えます。一言で言えば、給料の安い日本には東南アジア諸国からの出稼ぎの人たちが来てくれなくなり、現在、働いている人たちが帰国してしまうということです。当然、医療界にも直接間接的に大きな影響を与えます。また、働き方の多様化や労働に対する考え方の変化によって、日本の若者が職場に定着しにくくなりつつあり、一定水準以上の医療スキルやコミュニケーション能力を持ったマンパワーを確保できなくなりつつあるという現象もすでに全国で起こっています。

この問題は教育を含めた長年の日本政府の愚策の積み重ねで出来上がった構造的な問題であるため、処方箋はなかなか出てこないし短期的に解決できる問題ではありません。人材の問題はクリニックを経営する限りついて回ってくる頭の痛い根の深い問題になるでしょう。

以上の観点から、スタッフになるべく依存せずとも利益体質で休日の多い機動性の高い小規模クリニック経営を推奨します。そういった意味からも、労働時間依存型の保険診療クリニックではなく、外部環境に影響されにくい自費治療専門クリニックが今後の日本の労働環境にマッチしていると考えます。

それでは、皆様のご健勝とクリニックの繁栄を祈念して筆をおきたいと思えます。

写真:アレックスandro
デルピエロ氏と



BDM CENTER 新福泰弘

✿新福先生ありがとうございました✿

大人気!

新福先生コラム BDM通信
全30回(2018年~2022年)



新福先生症例報告

「Biofunction Dental Medicine ®(BDM®)
コンセプトにて全身の健康を同時に目指す
Full Mouth Reconstruction」



NEW!

2023年度もどうぞ期待!
「歯科診療で導入したい
点滴療法・栄養療法」



2014年3月「スペシャルセミナー」
レヴィ先生、バグリー先生来日



「歯科医師のための点滴療法ベーシック」



特別
コラム

新型コロナワクチン 接種後遺症の 治療プロトコル

点滴療法研究会 会長 柳澤 厚生 先生

新型コロナウイルス感染の切り札としてワクチン接種が2021年春に開始され、今や第4回目接種が行われています。しかし、**新型コロナワクチンには様々な急性あるいは慢性的副反応が報告されています。**特に、これまで健康で過ごしていた人が**ワクチン接種後に倦怠感、慢性疲労、頭痛、ブレインフォグ、脱毛、息切れ、胸痛、動悸、うつ症状、しびれ、めまい、じんま疹、月経異常、歩行障害など様々な症状が長期に続くケースが報告されています。**私の経験した事例を紹介します。

事例

中学1年生(12歳)男子。2021年9月に新型コロナワクチンを接種、その日は眠気が酷かった。翌日から強烈なだるさが始まり、クラブ活動はおろか、学校にも登校できなかつた。目の前がもやもやとして集中力がなくなり、昼間に楽でも夕方になると突然酷い倦怠感に襲われた。3つの診療所や大学病院を受診したが原因は不明とされた。ワクチン接種の翌日から症状がでていと訴えているにも関わらず、少年を診察した医師たちは「ワクチンの副反応にこういう症状はない」と言って否定し、9ヶ月経っても国のワクチン副反応事例報告には登録されていない。少年は現在も学校を休学している。

米国の救命救急医学専門家集団が ワクチン後遺症の治療プロトコルに 取り組む

このようなワクチン接種後に生じる様々な病状はワクチン後遺症(ワクチン接種後症候群)として世界中で大きな問題となっています。そうした中2022年6

月に米国の「新型コロナウイルス感染から人々の命を救い、パンデミックを抑える」ための救命救急医学専門家集団であるFLCCCアライアンス(Front Line COVID-19 Critical Care Alliance)から「ワクチン接種後症候群の治療プロトコル」が発表されました。

このプロトコルはFLCCCの12人の世界的に著名な専門医師らのチームによって提唱されました。プロトコル発表の1ヶ月前、リーダーであるポール・マリック医師(写真)は私に詳細な治療プロトコルの原案を送ってきて、意見を求められました。その内容は標準的な医療にこだわることなく、オーソモレキュラー栄養法を含む様々な統合医療を駆使しています。

彼らはワクチン接種後症候群とその治療について「ケースレポートやまとまった事例や治療の報告がなく、これまでの経験などに基づいてアプローチをせざるを得ない。そのために、**治療は各患者の症状や経過に従って個別化する必要があります、すべての患者が同じように治療に反応するわけではない。**治療は、ある患者にとって命を救い、別の患者にとってはまったく効果がない場合もある。しかし、**早期に治療を開始することが不可欠であり、治療が遅れると治療に対する反応が減衰する可能性がある。**」と述べています。

ワクチン接種後症候群の治療の実際

ワクチン接種後症候群の症状や障害は様々であり、患者に合わせて治療を選択します。ファーストライン(第1選択)、セカンドライン(第2選択)、サードライン(第3選択)治療を表に示します(表)。なお、ファーストラインとセカンドラインは優先度の高い順に並べてあります。

[1] ファーストライン治療

- | | |
|--|---|
| ① 毎日の間欠的断食：
16時間(1日2食)～20時間断食(1食) | ⑦ アスピリン：81mg 1日1回 |
| ② スペルミジンまたはレスベラトロール：
500mg 1日2回 | ⑧ ビタミンC：1,000mg 1日3～4回 |
| ③ イベルメクチン：0.2～0.3mg/kg
1日1回、最大4～6週間 | ⑨ ビタミンD/K2：
4,000～5,000 IU/1000µg 1日1回 |
| ④ 身体活動量の調整 | ⑩ ブラックミン：200～500mg 1日2回 |
| ⑤ 低用量ナルトレキソン(LDN)療法：
就寝前 1.5～3mg | ⑪ プレバイオティクス/プロバイオティクス |
| ⑥ メラトニン：就寝前 2～6mg | ⑫ マグネシウム：500mg 1日1回 |
| | ⑬ オメガ3脂肪酸：
EPAもしくはDHA/EPA製剤 1日4g |

[2] セカンドライン治療

- | | |
|---|---|
| ① ヒドロキシクロロキン：200mg
1日2回を1～2週間投与後に減量 | ⑥ ケルセチン：250～500mg 1日1回 |
| ② ミトコンドリアエネルギーオプティマイザー：
ピロキノリンキノ | ⑦ フルボキサミン：
12.5mg/日の低用量から開始、徐々に増量 |
| ③ 非侵襲的脳刺激(NIBS)：
経頭蓋直流電流刺激または経頭蓋磁気刺激 | ⑧ 低用量ステロイド療法：プレドニンとして
10～15mg/日を3週間投与し漸減 |
| ④ N-アセチルシステイン：600～1,500mg
1日1回 | ⑨ 太極拳・ヨガ |
| ⑤ ビタミンC点滴：25g
週1回 経口ビタミンCと併用 | |

[3] サードライン治療

- ① 高圧酸素療法：1.5～2気圧
- ② 全身振動療法(WBVT)



FLCCCのワクチン接種後症候群の治療プロトコル制作リーダー
ポール・マリック医師 ▶

新春特別セミナー

新型コロナウイルスによりパンデミックが終焉しても、そこには多くのコロナ後遺症やワクチン後遺症で苦しむ方々がいます。しかし、医師らも治療に関する情報が乏しいのが現状です。点滴療法研究会では2023年1月29日に私を含む4人の講師による新春特別セミナー「新型コロナ後遺症とワクチン後遺症～医療現場で今すぐできる最新治療」を開催します。この中で、私は国内外のワクチン後遺症について最新の治療情報を解説します。ぜひ多くの関心のある先生にご出席頂ければ幸いです。

専門家が徹底解説
新型コロナ後遺症とワクチン後遺症
医療現場で今すぐできる最新治療

2023年1月29日(日)

特別セミナーのお申し込みはこちらから →

<参考>FLCCCのワクチン接種後症候群の治療プロトコル

<https://covid19criticalcare.com/covid-19-protocols/i-recover-post-vaccine-treatment/>

アガリクス KA21 が 口腔扁平苔癬に対して 奏功した1例

私がアガリクス KA21 のサプリメントに興味を持ったきっかけは、点滴療法研究会での東栄新薬株式会社のランチョンセミナーで紹介されていた、以下のデータおよびメカニズムである。

- ① アガリクス由来のβ-グルカンに対する抗体が産生される。(右ページの※1を参照)
- ② 産生されたβ-グルカン抗体がカンジダなどの病原性真菌にも反応する。
- ③ 食細胞系による真菌の貪食、殺菌が促進されるため真菌感染症の予防効果が期待される。また、自然免疫活性化作用(NK細胞活性化)も期待できる。

この話を聞き、もしかしたら口腔粘膜疾患で臨床的に効果が出る可能性があり、我々臨床医が手を焼いている扁平苔癬や白板症などの難治病変に応用できるのではないかと考えた。

そして、会社の方にご協力いただき、扁平苔癬と白板症の臨床調査を行ったところ、アガリクス KA21 が扁平苔癬に対し有意な治療結果がでたので、ここに報告したいと思う。



金子 慎一郎先生
医療法人社団秀慎会
金子デンタルクリニック理事長

【略歴】神奈川歯科大学卒業後、市内歯科診療所勤務。3度のイェテボリ大学への短期留学と米国研修より帰国後、さつき台診療所(歯科)に勤務、口腔外科と全身疾患と歯科治療を軸に5年間勤務し、開業
【所属学会】歯周病学会、臨床歯周病学会、有病者歯科学会、抗加齢学会、点滴療法研究会。

口腔扁平苔癬とは、皮膚や粘膜にできる角化性で炎症を伴う病変である。頬粘膜や歯肉、口唇にも生じ、白い粘膜の角化がレース状にみられ、周囲に発赤を伴いびらんや潰瘍を伴い、まれに1~2%が悪性転化するともいわれていることから長期の経過観察が必要となる。また、原因がわかっていなく自然治癒は17%しかない難治性疾患である。

当医院に、口の中全体に食物がしみて、歯ブラシの接触痛をとまなう重度の口腔扁平苔癬の患者が来院した。高度医療機関に紹介した結果、口腔扁平苔癬の診断を受けたが、実際の治癒はなく洗口剤投与のみで、接触痛などの症状も改善せず、当医院にて経過観察となった。

当医院にて、徹底的な口腔ケアをおこなったところ、若干の緩和が見られたため、継続して経過観察をおこなっていた。

今回、その患者にアガリクスの臨床試験の提案をすると快諾し、患者の同意を得ることができたので、臨床試験のため洗口剤を中止し、アガリクス KA21 の摂取をしてもらったところ2か月ぐらいから臨床症状が消え、口腔内の白斑や発赤、びらんもかなりおちついてきた。患者もこのころから自分でもよくなってきているのがわかりますと話していた。

写真は、アガリクス KA21 を服用し始めた初診時と、約6か月後の口腔内状態である。初診時にかなりひどかった発赤、白斑、びらんも、治療まではいかないが改善傾向であり、また症状である歯ブラシによる接触痛も消え、口腔ケアも患者自身が積極的に行えるようになったので、全体的に口腔内が安定している状態になっている。

口腔内には、難治性の粘膜疾患が多く、我々臨床医は経過を観察しているだけしかなかったが、今回の結果によりアガリクス KA21 が、まだ1症例であるが扁平苔癬に効果がみられ、その患者のQOLの向上にもなったことを報告する。今後もしろんな難治性といわれる口腔粘膜疾患に対してアガリクス KA21 の有効性が確認できることを期待する。



東栄新薬のアガリクスKA21サプリメントのサンプル・資料請求は右記のQRコードからお問い合わせください。

株式会社ケーエーナチュラルフーズ TEL 0422-72-8120

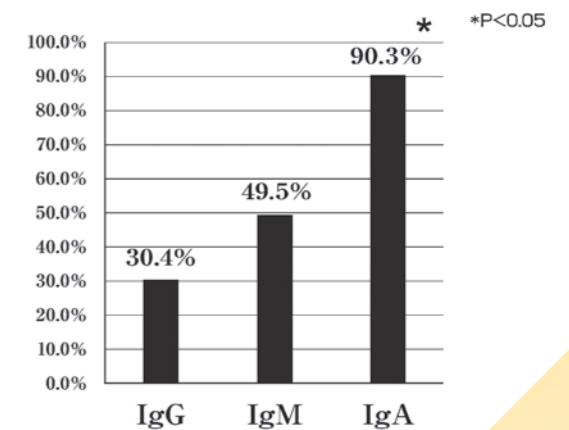


▲初診時



▲6か月後

※1
カンジダのβ-グルカンに対する抗体価の上昇



International Journal of Medicinal Mushrooms,
11(2):117-131 (2009)



お家で手軽に学べる 点滴療法動画

柳澤会長が今更聞きにくい疑問点に動画でお答え！

無料 / 会員限定 点滴ワンポイント動画 (2~5分)



以外に時間のかかる抜針後の
圧迫止血のコツをご紹介します。



Dr.柳澤が様々な症状改善のため
にベストな量をご紹介します。



計測器が手元にない場合の測り方
をご紹介します。



血管通の原因と対策をわかりやす
く解説。

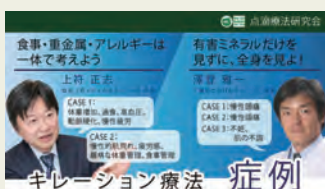


患者さんからの一番多い質問を柳
澤会長がわかりやすく解説。



根拠となる論文、作用機序から処
方、薬剤の入手方法まで。

有料 点滴療法 症例・活用動画

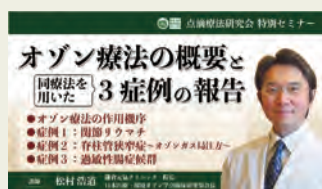


5症例 22分 3,300円



22分 10,000円

※パート1~2があります。



3症例 15分 3,300円

会員番号・パスワードをお忘れでないですか

無料動画の視聴・会員割引にはログインが必要です。会員番号がご不明な場合
事務局までご連絡ください。パスワードはご自身で再発行が可能です。

会員番号のお問い合わせはこちら▼
点滴療法研究会事務局：info@iv-therapy.jp

パスワードの再発行は
こちら▶



動画サイトはこちら▶



※会員無料動画はログインは必要。

※マスターズクラブ会員は割引価格で動画の購入が可能。



オーガニックで健康に

日本メディカルオーガニック協会では、食と健康に関する
国内外の医療従事者・研究団体・生産者・企業と連携し、
○科学的根拠に基づいた情報の収集・発信
○日本国民の食に関する意識改革
○日本のオーガニック業界の発展
を推進し、日本国民の健康に貢献してまいります。



代表理事 柳澤 厚生先生

「食は人なり」。オーガニックの食品を選ぶべき
医学的な理由は多く存在します。当協会では国
民の皆様がオーガニックと健康に関する知識を
深め、自分や家族のカタチにとってより良い選択
をお手伝いしてまいります。

個人会員募集中！

会員
特典

オーガニック・食・健康に関する
最新情報が読み放題！

農業や化学物質が人の健康に与える影響に関して、世
界では様々な研究が発表されています。当会ではそれ
らの医学的な情報を定期的に配信中。ぜひ会員登録し、
食事指導などの情報源としてご利用ください。

【年会費】無料

会員登録はこちら▶



米国政府および9,500を超える
有機企業と連携するアメリカ
の巨大協会「米国オーガ
ニック・トレード協会」と連
携し、海外のオーガニックに
関する研究結果を会員限定で
公開しています。

情報の活用方法は様々！

ご自身の知識の幅を
広げる

患者様への食事指導
の一助として

スタッフの学習材料
として

患者様向けレターの
情報源として

会員限定記事サンプル Organic NEWS

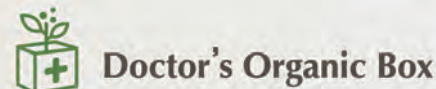
農薬の使用と肺がんのリスクの関連性

Environmental Health Perspectives 誌に掲載された研究
によると、一部の農薬や除草剤
に仕事に曝露することは、のち
の人生における肺がんの発症に
関連するということが分かりま
した。この研究は、ノースカロ
ライナ州とアイオワ州の 57,310
人の農業従事者の健康に関する
長期データを含む農業健康研究
から収集されたデータを使用し
て実施されました。研究者は、
農薬曝露と肺がんリスクとの関
連性を判断するために、43 種類
の農薬への曝露と、農業を散
布している労働者における 654
肺がん症

記事をもっと
試したい先生は
無料メルマガ
登録がオススメ



「もっと食を学びたい！」先生向け宅配サービスのご案内



石黒医師監修！食を学び、自ら体感できる宅配サービスをご用意。
テーマに沿った「食と健康の情報誌」と厳選したオーガニック
& ナチュラルな「食品セット」を毎月お届けします。
先生ご自身が食に関する学びを深められるのはもちろん、
患者様向けの食事指導やスタッフ教育にも活用いただけます。

食と健康の情報誌サンプル
「腸内環境改善サポート」つき
無料資料請求をぜひお取り寄せください▶



さらに！
宅配サービス
ご利用の先生は
協会の年会費が
免除されます。

【監修医師】
アクアメディカル
クリニック 院長
石黒 伸 先生

会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご利用ください。

認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・症例・論文
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習 **PICK UP!**
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オソモレキュラー医学会
日本オソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ作成サービス
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ **PICK UP!**
- ・書籍掲誌
- ・会員証発行

学びの秋キャンペーン 12/16まで セミナー動画・テキストを特別価格でご提供! 先着各5セット

過去開催セミナーを特別価格でご提供

学びの秋にぜひおすすめしたい、人気の高いセミナー動画・テキストを各5セット限定で特別価格にてご提供します。オンラインショップまたは、同梱の資料にてお申込みください。

01		<ul style="list-style-type: none"> ■ 先進的開業医における再生医療の実践～培養上清を用いたアンチエイジング治療・疼痛管理～ ■ 脂肪由来幹細胞培養上清を用いたED（勃起不全）治療の現況 ■ 幹細胞培養上清液によるアンチエイジング領域における治療の有効性 ■ 健康な幹細胞を増やす食事とサプリメント <p>2019年3月開催</p>
02		<ul style="list-style-type: none"> ■ アンチエイジングにおける再生医療培養上清療法を中心に ■ 脂肪由来幹細胞培養上清の臨床応用の可能性について～疼痛治療、ED治療の経験から～ ■ アンチエイジングを加速する代謝栄養療法 ■ アンチエイジングと口腔～免疫・酸化ストレスと栄養素～ ■ アンチエイジング治療におけるCell-freetherapy（セルフリーセラピー）～プラセンタ治療から幹細胞上清治療まで～ <p>2019年9月開催</p>
03		<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本におけるカンナビノイド医療の発展 ■ 幹細胞培養上清療法を始めましょう ■ メチレーションの臨床応用～メチレーションの役割と活かし方～ ■ ウルトラファインバブル水を活用した腸内フローラ移植～IBSからアトピー性皮膚炎まで～ ■ ホルモン治療の実践 <p>2020年10月開催</p>
04		<ul style="list-style-type: none"> ■ 成功する自由診療の心得 ■ 点滴療法実践クリニックで今やるべき集患・販促とは ■ 自由診療における医療広告規制とリーガルマーケティング ■ メディカルコーチングを活用したリピーターの多い成功するクリニックにする手法 <p>2021年9月開催</p>

01	33,000円	03	33,000円
02	→ 15,000円(税込)	04	→ 20,000円(税込)

学習サポート

症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、ログインが必要です。

メールマガジンにご登録ください!

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、各種キャンペーンやお得な情報をお送りしております。お見逃しなく! メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後マイページよりご登録ください!



点滴療法研究会 マスターズクラブ 会員限定 オンラインショップ 院内動画(デジタルサイネージ)販売開始

患者様に点滴療法を知ってもらおう!

デジタルサイネージ 販売開始!

院内モニター用の販促動画をご用意いたしました。貴院での導入状況に合わせて各種点滴療法の紹介を組み合わせることでアレンジできます。

必須	A 点滴療法とは? (2分30秒)	<ul style="list-style-type: none"> ● 点滴療法の概要とメリット ● 適用疾患 ● 使用する栄養素の効果
選択式	B 1~4 各種点滴療法のメリットや歴史 (各約2分)	<p>NEW! 販売中</p> <ul style="list-style-type: none"> B1: 高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版) B2: 高濃度ビタミンC点滴療法(アンチエイジング版) <p>現在準備中</p> <ul style="list-style-type: none"> B3: マイヤーズ・カクテル版 B4: 歯科クリニック向け点滴療法
選択式	オプション 活用しやすいようなオプションをご用意	<ul style="list-style-type: none"> ● 名入れ・ロゴ追加 ● 「デジタルフォトフレーム」

動画サンプルはこちらをご覧ください

その他にもリーフレットやポスターなど院内販促に役立つツールを販売しています。

← オンラインショップはこちら

学習サポート

動画学習

会員無料

- 新型コロナ後遺症とワクチン後遺症の治療選択肢 低用量ナルトレキソン療法
- 海外の文献を簡単に翻訳 DEEPL

動画一覧はこちら

「症例から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

「論文から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」 Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis *Nature*(2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」 Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. *Free Radic Biol Med.* 2011 Aug 1;51(3):681-7

点滴療法研究会協賛企業のご紹介 (五十音順)



アークレイマーケティング株式会社

【血中ビタミンC相当値を簡単・迅速にチェック可能!】ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。まずは、資料請求からお気軽にお問い合わせください。 TEL.050-5527-7700



株式会社アイダンプロダクツジャパン

米国リオルダンクリニックの研究室から生まれた革新的サプリメント。柳澤会長とリオルダン博士が設計監修された高濃度ビタミンC点滴のサポートサプリIVC-MAXなどを取扱っております。是非ご利用ください。 TEL.03-6811-1318



アンブロシア株式会社

迅速・丁寧・安心をモットーに各種検査サービスをお届けします。(遅延型フードアレルギー/重金属(唾液・尿)/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO(呼吸)/ビタミンD/男性・女性ホルモンなど) TEL.044-299-7946



Wismettacフーズ株式会社 ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカのサプリメントは、栄養療法フォローを目的として、安全性・科学的根拠・機能性にこだわった設計です。柳澤先生ご監修の「点滴療法専用サプリメント」をはじめ、様々な局面でご利用いただけます。 TEL.03-6870-2006



株式会社ウェルハート

当社は薬監申請に基づき、海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。また、ドイツHumares社のオゾン機器、JBP社のヒトプラセンタ内服薬、の国内代理店業務を行っております。 TEL.03-6812-5501



医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐える性能と品質」をお約束します。さらに、「栄養療法のトータルサポート企業」として、「栄養医療とサプリメント販売のノウハウ」を、先生方にご提供いたします。 TEL.03-5366-0208



大里研究所

大里研究所は、予防医学による医療費削減を目指し、抗酸化作用・抗炎症作用・免疫調節機能を有するFPP(Fermented Papaya Preparation:パパイヤ発酵食品)の臨床研究を、欧米の大学・医療機関と共同で行なっております。 TEL.058-534-3830



オーガニックサイエンス株式会社

日本初の塩化マグネシウムを高濃度に配合したマグネシウムクリーム、防腐剤、合成界面活性剤を使用せず100%天然由来成分でつくられ、マグネシウムが持つ特有の肌への刺激を抑え、敏感肌の人でも継続使用できる。 TEL.0800-222-0986



有限会社クレア・ラボ・ジャパン

Klaire Labs社は米国で50年間以上、医療機関へアレルゲン・フリーのプロバイオティクス・サプリメントを提供し続けています。米国同様、日本でも15年にわたり医療機関へ提供させて頂いております。 TEL.045-534-9518



株式会社玄米酵素

「玄米酵素」1971年創業
「玄米酵素」玄米、胚芽表皮を麹菌で発酵した自然派サプリ/学術論文が30本以上/140以上の医療機関がご利用/ビタミン11種、ミネラル10種、食物繊維、抗酸化成分も豊富
TEL.011-736-2345



株式会社こころ

欧米で盛んに研究され、その驚くべき効果がつぎつぎと発表されている麻由来のポリフェノール、CBD。いま、健康をサポートする栄養補助食品として医師や科学者の間で注目を集めています。詳細はお問合せ下さい。 TEL.048-291-8802



医療法人社団 THE CLINIC Institute AZACLI 麻布クリニック

EXOSOMEの製造
EXOSOMEの臨床研究
美容皮膚科
脂肪吸引
TEL.03-6386-8676



株式会社サルベストールジャパン

ニュージーランドのサルバケア社より認定を受け、日本におけるサルベストールの販売提供を行っております。がん治療を目的とした医療機関向けサプリメントSalvestrol PLATINUM2000(点滴療法研究会推奨サプリメント)です。 TEL.03-6450-2406



株式会社スピック

日本製の高品質なリポソーム化されたビタミンCサプリメント。全国1,500以上の美容と健康のブランドの事業所で導入されています。高濃度ビタミンC点滴を導入のクリニックでのお取り扱いが中心です。 TEL.0467-23-8161



第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に、様々な口腔内病変の改善を目的とした、フコイダン・白なた豆エキスを含有した口腔内専用の製品 パワーフコイダン マウスジェルCG
TEL.06-6131-0370



共同購入VC受注代行センター (有限会社デイスインターナショナル)

厚生局の指導に従い、法令遵守して医師による個人輸入をサポートいたします。Mylan社製ビタミンC製剤・Woerweg社製αリポ酸の受注窓口として、受注業務を代行しております。ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。 TEL.03-6300-0152



株式会社デトックス

株)デトックスは2005年から医療関係者のために、一流レベルの機能性医療検査と高品質の治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバーしております。 TEL.03-5876-4511



東栄新薬株式会社

露地栽培アガリクスKA21の製造販売会社。32本の国際論文に基づいた、免疫サプリ=癌患者様用、カンジダ(口腔内、腸、膈)対策、特許配合育毛サプリ、腸内環境改善サプリの無料サンプル申込は以下にお電話ください。 TEL.0422-26-7310



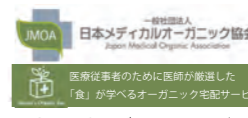
一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

来年5月28日に当会主催「オーソモレキュラー医学の最新動向-2023春-」が開催されます。栄養療法の専門家の講師陣に、最新情報についてご講演いただきますのでお見逃しなく!皆さまのご参加お待ちしております。 TEL.03-6821-1461



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

DOUGLAS LABORATORIESは医師の手から患者様へ医師が責任を持って処方する信頼のブランドです。1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包化等、多彩なサービスを取り揃えています。 TEL.03-5530-2212



一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。医師監修の元、医学的根拠に基づいた食と健康に関する知識を身につけることと共に、オーガニックな食材を体感することができます。 TEL.03-6277-3011



株式会社ニュートリション・アクト

遺伝子レベルに着目した、医療機関専売サプリ【メロングリソチン プロ】細胞内の抗酸化酵素を誘導し活性化することで、本来の生命力を高め究極のアンチエイジングへ。その他DNA修復サプリ・ミトコンドリアサプリも。 TEL.03-3538-5811



ネスレ日本株式会社

総合食品メーカー
サプリメント等、消費者の健康に貢献する商品を展開。
TEL.03-5769-6228



Bio Umbrella株式会社

NMNの世界的バイオニアメーカーである、ミライラボバイオサイエンス株式会社の完全β-NMNを原材料にした、点滴研究用試薬の製造メーカーです。 TEL.03-5545-5100



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

2022年4月に発売20周年を迎えた医療機関専用サプリメント乳酸菌生成エキス『アルベックス』、2022年3月に機能性表示食品となったホタテ由来『プラスマローゲン』を扱っています。ご興味のある方は是非ご資料請求ください。 TEL.03-3288-0068



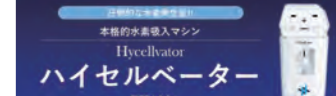
株式会社First Health Japan

最高水準の医療・技術が必要とする医師と世界の医療機関・情報を繋ぎサポートいたします。USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等詳細はお問い合わせください。 TEL.03-5799-7085



株式会社分子生理化学研究所

当社は2002年に設立した医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得し、全国約5,000の医療機関導入をした実績から、栄養療法を実践する皆さまのサポートをさせていただきます。 TEL.03-5286-7010



株式会社ヘリックスジャパン

水素・酸素の混合ガス吸入器「ハyselベーター」展示と体験 全国100ヶ所以上の医療現場への導入実績のあるハyselベーターは水素発生装置(1~1.2リットル/分)業界トップクラスのマシンです。 TEL.03-3234-8000



ミライラボバイオサイエンス株式会社

完全β-NMNを使用したNMNサプリメントや、NMN化粧品を世界に先駆け商品化し、販売しているバイオニア企業です。 TEL.03-5403-6393



株式会社LiNK

ヨウ素製剤に関する臨床・研究の情報収集、他の学会や団体との交流・親交を深め知識向上を目的とした講習会・学術活動を行います。 TEL.03-6417-1920



一般社団法人 臨床水素治療研究会

水素を用いた各種疾病の治療や予防効果の調査研究、水素治療における専門的な知識向上とその活用を行うとともに、水素治療における治療行為者の育成と規格化を推進しその活動支援を行っております。 TEL.03-3221-6313

